

**森林組合トップセミナーおよび森林再生基金(FRONT80)
助成先第 2 回事業完了発表会の開催について**

1 開催趣旨等について

- (1) 当金庫は、平成 17 年に創立 80 周年を契機として、「公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金(FRONT80)」を設定し、森林の再生事業助成を通じた社会貢献事業に取り組んでいます。この公益信託は、信託財産 10 億円、期間 10 年程度とし、1 年当たり 1 億円程度を助成して、国内の荒廃した民有林を再生する事業・活動に対して支援を行うものです。
- (2) 今回、平成 19 年度に実施した助成対象事業が完了したことから、昨年に続き、発表を行う第 2 回助成先団体(5 森林組合)、これまでの助成団体、指導をお願いした講師や研究者にご参集いただき、発表会を開催することとしました。FRONT80 は、もともと民有林を再生する非営利の団体を支援し、そのアイディアを広く一般に紹介することを目的のひとつとしており、この発表会もその一環であります。
- (3) また、現在、全国の森林組合では、「提案型集約化施業」をはじめ、各種事業・組織改革に取り組んでおり、本格的に事業そして組織改革を進めていくためには、組合長はじめとする経営層のリーダーシップの発揮がより一層必要となってきたことから、この発表会の機会に、全国の参加希望森林組合を対象した経営者向けのセミナーを主催することとしました。
- (4) このトップセミナーでは、ドイツで長年フォレスターとして活躍された G・リーガー氏に来日いただき、ドイツの森林・林業からみた日本の森林・林業について講演をいただくとともに、ドイツ在住日本人ジャーナリストや国内の研究者もお招きし、パネルディスカッションも実施する予定です。ドイツの林業は、先進的な事業展開で、近年わが国でも大きな関心を集めており、環境に配慮した施業なども注目されているところであります。また、合わせて、転換期での経営者の役割をテーマに、企業経営者として、アサヒビール(株)の中條名誉顧問をお招きした講演を予定しております。
- (5) 今回、報道関係の皆様、トップセミナー・発表会とも、その模様を公開いたしますので、以下のとおりご案内いたします。

2 森林組合トップセミナーと FRONT80 事業完了発表会の概要

(1) 森林組合トップセミナー

a 実施予定日時

平成 20 年 7 月 28 日(月) 13:30～29 日(火) 10:45 (予定)

b 開催場所

グランドプリンスホテル赤坂「新緑の間」

c 出席者

- (a)FRONT80 助成先団体（金山町森林組合ほか 11 森林組合，1NPO） 約 25 名
(b)全国の参加希望の森林組合の組合長，参事など経営者 約 40 名
(c)全国の道府県森林組合連合会の指導担当実務者など 約 30 名
(d)FRONT80 フォローアップ 事業講師・有識者など（森林・林業を専門とする研究者等） 約 45 名
(e)全国森林組合連合会およびその他団体 約 40 名
- 以上 約 180 名程度

d 日程

28 日 13:30～	森林組合トップセミナー（リーガー氏講演ほか）
28 日 17:30～	意見交換会
29 日 9:30～10:45	森林組合トップセミナー （中條高德氏（アサヒビール名誉顧問）講演）

(2) FRONT80(森林再生基金)第 2 回事業完了発表会

a 実施予定日時

平成 20 年 7 月 29 日(火) 11:00～16:00（予定）

b 開催場所

グランドプリンスホテル赤坂「新緑の間」（森林組合トップセミナーに同じ）

c 出席者

森林組合トップセミナーに同じ

(3) その他

a 森林組合トップセミナーの主な講師の略歴

(a)ゲアハルト・リーガー氏（Gerhard Rieger）

1943年生まれ，フライブルク大学博士号。1985～2008年 ショップフハイム森林署の署長。この間，ロッテンブルグ林業専門大学講師，ドイツ林業機械協会の林業機械審査員としても従事。現在，小ヴィーゼンタール森林所有者共同体（日本の森林組合に相当）のマネージャー。

＊ ドイツの森林官（フォレスター）は，日本の林業改良普及員と森林組合職員の役割をあわせた存在（法的身分は公務員）。民有林のほか州有林（日本の国有林に相当）なども含め，地域の森林全体を管理。森林官の社会的地位は高く，地域の尊敬を受けるが，森林所有者の施業のよき相談相手。なお，リーガー氏は，森林署長を務めた幹部クラス
の森林官OB。

(b)中條高德氏（なかじょう・たかのり）

1927 年生まれ。1982 年アサヒビール(株)常務取締役営業本部長，1988 年アサヒビール(株)代表取締役副社長。アサヒ飲料(株)会長を経て，現在，アサヒビール(株)名誉顧

問。当時不振のアサヒビールを陣頭指揮し、立て直した経験をもとに、変革期のリーダーの役割について講演をいただく予定。

b 第2回助成対象事業の内容

助成対象先	事業内容
^{かなやまち} 金山町森林組合 (山形県)	ダム周辺の共有林において、機能区分ごとの目標林型を定め、施業の集約化・効率化を図り、森林組合による一元的な森林経営モデルとすることを目指した事業。また、地域住民に森林の公益的機能を理解してもらう契機となることも指向。
^{ひがししらかわむら} 東白川村森林組合 (岐阜県)	地形が急峻で、路網が未整備などにより森林整備が遅れている地域で、生産林と保全林の機能区分（ゾーニング）、高密路網の整備による森林整備を実施。それにより、森林所有者の意識改革も目指すもの。
^{まにわ} 真庭森林組合 (岡山県)	進入路がなく長期間手つかずのダム湖畔の人工林及び広葉樹林において、基幹作業道等を開設。森づくり指針に基づき、高密路網と高性能林業機械の導入による低コスト施業を実証するとともに、今後の経営モデルとすることを目指すもの。
^{みま} 美馬森林組合 (徳島県)	急峻な地形と崩れやすい地質という条件不利地域において、幅員の狭い(2m)作業路と架線系の小型高性能林業機械を活用した作業システムの構築を目指す事業を実施。採算のとれる森林経営モデルの確立を目指すもの。
^{みなみなか} 南那珂森林組合 (宮崎県)	皆伐放棄地の拡大が懸念される南九州において、GPS・GISを活用した境界測量、資源調査によりデータベースを構築。計画的・効率的な施業を行うなど、採算のとれる皆伐再造林モデルに挑戦するもの。

以 上

※報道関係の皆様へ

会場準備の都合上、当日の取材を希望される場合には、**7月24日(木) 17:00 までに下記問い合わせ先までご連絡いただきますよう、**お願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】
 農林中央金庫 広報部 竹渕，湯山
 TEL 03-5222-2019